

# 平成29年度事業計画書

## 平成29年度基本方針

平成2年に設立し、同22年から公益財団法人に移行した当協会は、時代の情勢に応じながら、世界の人々と共に生きる国際性豊かな社会の創造を目指し、①「多文化共生社会の実現」②「交流人口の拡大」③「人づくりへの貢献」の3つの基軸により、各種事業を展開してきた。

当協会は、県域を所管する国際交流の広域団体として、県内の国際交流・多文化共生に関する諸課題に対応するための広域的、先進的な取組みを進めるとともに、各地域の市町国際交流団体の持つ強みを互いに活用し合い、助け合うしくみづくりに取組んできた。その基盤として平成25年度に「ひょうご国際交流団体連絡協議会」を設立し、団体間の情報共有や相互連携の推進を図るほか、自治体等との連携も一層強化して、県内各地の国際交流の充実・発展に努めている。

平成28年3月には、県において「ひょうご多文化共生社会推進指針」が策定され、取組の方向性と各推進主体の役割が明示された。今後とも、県、市町、市町国際交流協会、民間国際交流団体などの関係機関と連携を一層図り、国際交流の推進、多文化共生の社会づくりの推進に積極的に取り組んでいく。

そこで、平成29年度に特に取り組むべき事業として、①「多文化共生社会の実現」においては、引き続き、ひょうご国際交流団体連絡協議会活動の積極的な推進や、平成28年度に県内の全ての市町に設置が完了した地域日本語教室の運営支援を行うとともに、実効性あるセーフティネットの役割を果たすべく機能強化に取り組む。

また、在留者数が急増しているベトナム人の支援対策として、「居場所づくり事業」の新規メニューにベトナム人向け日本語教室を追加するほか、姫路市に設置されるベトナム人相談業務を支援する。さらに、外国人県民相談の運営や多文化共生を考える研修会を引き続き開催することなどにより、異文化理解の促進や多文化共生社会構築への意識づくりを進めていく。

また、②「交流人口の拡大」においては、西オーストラリア州や中国・広東省との友好提携等を記念した県民交流団を派遣するとともに、海外の交流拠点である海外事務所において、現地関係者・団体等のネットワークを構築し、人材活用や相互協力の促進を図るとともに、県内企業の進出支援及び進出後のフォローを行う等、経済活動支援機能を強化するほか、各種交流事業を通じた草の根レベルの国際交流を推進する。

併せて、③「人づくりへの貢献」では、外国人留学生の支援において、引き続き東南アジア新興国をはじめ幅広い国・地域からの留学生の受入を進めるほか、海外研修員の受入などの多様な事業に積極的に取り組んでいく。

なお、各事業の実施にあたっては、今年度も県の行財政構造改革を念頭に置き、協会の有するソフト・ハードの経営資源を有効に活用し、効率的に執行していく。

## 事業内容

### 1 多文化共生社会の実現

今年度の目標) 外国人児童生徒の学習や地域社会への参画等にかかる課題を解決するとともに、外国人県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを進める。

#### (1) 外国人児童生徒への学習支援

##### ① 外国人県民・児童生徒の居場所づくり (予算額 16,684千円) 【一部新規】

県内各地域において外国人県民や外国人児童生徒に対する日本語学習等の支援を促進するため、ボランティア団体等と共催で日本語・母語・教科学習教室を共催する。

なお、これらの教室は、外国人県民や児童生徒が定期的集まる場所として定着していることから、併せて日本の生活習慣や文化慣習等を学ぶ機会を提供し、地域ニーズに合った支援事業を追加

実施することにより、外国人県民が地域社会で暮らし、成長するための拠点となる居場所づくりを進める。

#### ア 地域日本語教室

外国人県民（成人）に基礎的な日常会話と識字能力を付与するとともに、併せて日本の生活習慣や文化慣習等を学ぶ機会も提供する。

- ・講座数：45 講座 [28年度：46 講座]

#### イ 日本語・教科学習教室

外国人児童生徒に日本語学習、日本語を用いた学校の教科学習、進学に向けた教科学習を支援する教室をし、併せて日本の生活習慣や学校文化等を学ぶ機会を提供する。

- ・講座数：30 講座 [28年度 日本語教室・教科学習教室：26 講座]
- ・進学に向けた教科学習集中支援教室：8 講座 [28年度：6 講座]

#### ウ 母語・教科学習教室

外国人児童生徒に、自己アイデンティティの保持や家族とのコミュニケーションを図るための母語の学習や、日本語による理解が難しい場合の母語による教科学習を支援する教室を実施する。

- ・講座数：15 講座 [28年度 母語教室・教科学習教室：14 講座]

#### エ 児童生徒支援

ボランティア団体等が実施する日本語教室、母語教室、教科学習教室等を核として、安心して地域社会で成長するための支援拠点づくりのため、地域ニーズに合った事業を追加実施する。

##### (ア)先輩に聞こう！

- ・内 容：外国人児童生徒が同様の経験をした先輩の高校生や大学生による体験談を聞き、将来の目標や進路を考える機会とする。
- ・箇所数：5 箇所 [28年度：5 箇所]

##### (イ) ころや進路のカウンセリング

- ・内 容：心理カウンセラーや教員経験者等による心や進路の悩みに対するカウンセリング
- ・箇所数：10 箇所 [28年度：5 箇所]

##### (ウ)活動支援

- ・内 容：大学生等ボランティアの支援のもと、様々な活動を外国人児童生徒の企画、準備により実施する。
- ・箇所数：10 箇所 [28年度：7 箇所]

#### オ ベトナム人の日本語学習支援（新規）

「外国人県民・児童生徒の居場所づくり」にメニューを追加し、近年、在留者数が急増しているベトナム人に対して、地域日本語教室でのベトナム語を使った日本語学習を支援するほか、オリジナルテキスト「くらしのほんご」（ベトナム語版）の活用を通じて日常生活での日本語能力を高める支援を行う。

- ・ベトナム語を使った日本語教室：4 講座
- ・「くらしのほんご」（ベトナム語版）活用に係るコーディネーター派遣：4 講座
- ・「くらしのほんご」（ベトナム語版）の増刷：150 部

## ② 外国人児童生徒への日本語・学習支援等を担う人材育成研修会の開催 (予算額 698 千円)

日本語能力が不十分な外国人児童生徒に日本語学習や教科学習の効果的な支援方法、日本語教育そのものに対する理解を深めるため、外国人県民・児童生徒支援者等を対象に、外国人県民・児童生徒の支援に役立つ研修を実施する。

### ア 日本語教育研修会

・対象者：日本語教師や日本語学習ボランティア等

・時 期：1月

・回 数：1回

[28年度：1月21日実施、64名参加]

### イ 外国人児童生徒への日本語・学習支援研修会

・対象者：学校関係者、日本語・教科学習支援従事者

・時 期：2月

・回 数：2回

[28年度：延べ105名受講]

(1回目：2月4日実施、56名、2回目：2月25日実施、49名)

### ウ 日本語教師フィールドワーク学習会【新規】

・対象者：HIA登録日本語教師等県内日本語教師

・時 期：3月

・回 数：1回

## ③ 母語教育支援研修会の開催 (予算額 314 千円)

母語教育は、外国人児童生徒にとりアイデンティティの確立や精神的安定が得られるなど大きな効果があるとされていることから、母語教育への理解を深める研修会を開催する。

・対象者：母語教育関係者

・時 期：2月

・回 数：1～2回

[28年度：3月25日実施予定]

## (2) 日本語教育の推進

### ① 日本語教育指導員等の配置 (予算額 12,292 千円)

外国人県民が安心して暮らしていくためには、日本語の習得が不可欠であることから、日本語教育専門職員を配置し、日本語講座を主催するほか、地域日本語教室の人材育成を支援し、県内日本語教育の振興に努める。

### ② 外国人県民対象日本語講座の開催 (予算額 3,397 千円)

外国人県民の日本語能力向上のため、夜間に学べる日本語講座を開設・運営する。

・回数等：初級、初中級 年32回、延べ64時間

・期 間：第1期 5～7月、第2期 10～12月

・クラス：6クラス(初級5、初中級1)

・定 員：年間240名(各クラス20名×6クラス×2期)

・受講料：各期2,000円

[28年度：延べ217名受講(第1期107名、第2期110名)]

### ③ 「すぐに役立つ日本語講座」(夏期集中日本語講座)の開催 (予算額 1,069 千円)

日常生活で役立つ日本語を優先効率的に学習したいというニーズに対応して、生活場面と密着したコミュニケーション能力の習得に資する講座を開設する。

- ・時間数：20 日間、延べ 54 時間
- ・期 間：7 月中旬～8 月上旬
- ・クラス：2 クラス（レベル別）
- ・定 員：40 名（各クラス 20 名）
- ・受講料：1 期 4,000 円

[28 年度：29 名受講]

#### ④ セーフティネットとしての地域日本語教室運営強化事業 (予算額 1,435 千円)

平成 28 年度を以て県内全市町での日本語教室開設を達成したが、新規開設された教室の運営が安定化するよう支援し、構築した日本語教室網の維持、発展を目指す。

- ・対 象：当協会との協働により新たに日本語教室を設置した市町  
(相生市、佐用町、市川町、太子町、福崎町、多可町、香美町、新温泉町、神河町)
- ・協働内容：日本語学習支援ボランティアの養成やスキルアップのための研修実施、人材育成  
運営に関する助言、運営負担金の交付

#### ⑤ 地域日本語教室セーフティネットモデル事業 (予算額 1,160 千円) 【新規】

地域日本語教室が日本語学習の場のみならず、交流の場、災害時等のセーフティネットとして重要な意義を有している役割についてさらに意識付けするとともに、実効性のあるネットワークとして機能するよう普及啓発していくため、平成 28 年度に「地域日本語教室リーダー養成講座」を実施した但馬地域において、具体的な防災計画に基づいて検討を行い、実際にセーフティネットとして機能するモデルシステムを構築する。

##### ア モデルシステム検討会

- ・対 象：県・市防災担当者、市町国際交流協会外国人支援担当者、日本語教室等地域の外国人支援団体のボランティア、地域の外国人県民等
- ・内 容：人と防災未来センター上級研究員等のアドバイスを受けながら、関係者による検討会  
(全 8 回) の開催

##### イ セーフティネット・フォローアップ研修会

- ① 対 象 平成 28 年度地域日本語教室リーダー養成講座受講者等
- ② 内 容 文化庁が示す日本語教育の標準的なカリキュラム案で扱う「災害に備え、対応する」場面で必要な日本語を活用した効果的な日本語学習方法についてのフォローアップ研修の開催

#### ⑥ 日本語学習支援アドバイザー派遣事業 (予算額 698 千円)

県内各地で在住外国人のための日本語教室を運営し、研修を希望するボランティア団体等に対して日本語教師を派遣することにより、ボランティアの養成や研鑽、運営面の課題解決や活性化に役立てる。

- ・派遣時間数：60 時間（12 団体程度） [28 年度：16 団体、70 時間]

#### ⑦ 地域日本語教室リーダーの養成事業 (予算額 1,748 千円)

地域日本語教室は、日本語学習の場として、あるいは交流の場として重要な役割を担っており、日本語学習環境の整備や地域の国際化の推進に大きく寄与している。

この活動を活性化し、長期的に継続することを目的として、日本語教室のリーダーの養成研修を行う。

- ・事業内容：参加教室へのヒアリング、教室運営や指導法の検証・改善、モデル授業等
- ・実施箇所：西播磨地域

⑧ 外国人県民・児童生徒の居場所づくり [再掲 (P12 参照)]

⑨ 外国人児童生徒への日本語・学習支援等を担う人材育成研修会の開催 [再掲 (P14 参照)]

### (3) 外国人県民への生活支援

① 外国人県民インフォメーションセンターの運営 (予算額 24,610 千円)

出入国、婚姻、医療、労働、教育など外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、4言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施する。

- ・人 員：相談員 5名 (英語(1)、中国語(1)、スペイン語(2)、ポルトガル語(1))
- 専門相談員 1名 (弁護士による法律相談・週1回)

[28年度：相談件数 2,023 件 (H28.12月末現在)]

② NGO等と連携した外国人県民相談活動の実施 (予算額 2,992 千円) 【一部新規】

ア 夜間、休日等の相談に応じるため、NGO/NPOが行う相談活動等の費用の一部を支援する。

- ・対象団体：2団体 [ 28年度：NGO 神戸外国人救援ネット、NPO 法人篠山国際理解センター、  
相談件数：312 件 (2団体合計 H28.12月末現在) ]

イ 県内在住ベトナム人相談支援事業 (新規)

急増する県内在住ベトナム人への支援として、姫路市文化国際交流財団が設置するベトナム語による相談窓口の設置を支援する。

- ・対象団体：公益財団法人姫路市文化国際交流財団

③ 多言語生活ガイドホームページの運営 (予算額 425 千円)

外国人県民が日本で生活する上での生活情報を掲載した多言語生活情報ガイドホームページを運営する。

- ・内 容：10言語による生活情報の掲載

[ 28年度：日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、  
ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語 ]

④ 外国人県民生活サポート活動の支援 (予算額 3,600 千円)

外国人コミュニティによる母語による相談や情報提供などの生活支援活動、子どもに対する母語教室の開催等を支援する。

- ・対象団体：3団体

[ 28年度：ベトナム 夢 KOBE、ひょうごラテンコミュニティ、  
NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK ]

⑤ 多文化共生を考える研修会の開催 (予算額 1,292 千円)

外国人県民と接する機会の多い行政職員、教員、日本語教師、ボランティア等が、多文化共生について理解を深めることができる研修会をNGOと協力しながら開催する。

- ・対象者：行政職員、教員、日本語教師、ボランティア、外国人支援NGO 等

- ・時 期：8月

- ・回 数：4日間

[ 28年度：8月17日～26日 (うち4日間) 実施、  
延べ 300名参加 ]

**⑥ 多文化共生のつどい(仮)の開催** (予算額 1,000 千円)

阪神・淡路大震災 20 年の節目に兵庫県内の外国人コミュニティや外国人支援、行政や国際交流団体が協働実施した「つどい」の理念を継承する事業を実施する。

- ・事業主体：「つどい」実行委員会
- ・事業方法：補助
- ・事業内容：多文化共生意識の涵養につながる講演会、各国文化を発信するための祭典 等

**⑦ 外国人学校交流の推進** (予算額 2,696 千円)

外国人学校に通う児童生徒が兵庫県内の自然とのふれあいや地域住民との交流を通し、地域、ひいては兵庫県への理解を深めることを目的に、外国人学校が実施する自然学校等の事業に対し助成する。

- ・対象者：外国人学校
- ・助成額：助成対象経費の 1/3 (上限：428 千円/校)
- ・内 容：1泊2日以上 の県内自然交流施設等での体験学習

[28 年度：11 プログラム (予定)]

**2 交流人口の拡大**

今年度の目標) 草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進める。

**(1) 国際交流の推進**

**① ひょうご国際プラザの管理・運営** (予算額 134,671 千円)

世界に開かれ世界の人々と共に生きる国際性豊かな地域づくりを推進する拠点として「ひょうご国際プラザ」を設置・運営する。また、施設の活用を通じ、国際分野で活躍する団体やボランティアグループ等との連携強化や、ネットワークの拡充を図る。

ア 国際情報センター (図書資料コーナー、日本語教育コーナー等)

国際交流に係る情報収集、書籍等の資料購入など情報基盤の整備を行い、図書資料コーナー等を活用した情報提供を行う。

28 年度：(H28. 12 月末状況)	
蔵書数	23,901 冊
施設利用者数	19,715 人

イ 日本語教育推進室

県内の在住外国人への日本語教育の推進に向け、日本語教育の活動拠点及び日本語教育教材の収集・管理の場として、日本語教育推進室を管理・運営する。

ウ 国際交流サロン (交流ギャラリー、交流サロン)

協会自らが実施する外国人県民日本語講座や各種研修会、セミナー開催の活動用スペースとして活用する。

**② 兵庫県海外事務所の運営** (予算額 179,561 千円) **【一部新規】**

海外における友好交流、経済交流、観光交流事業を展開するため、兵庫県ワシントン州事務所、西オーストラリア州・兵庫文化交流センター、兵庫県パリ事務所、兵庫県ブラジル事務所、及び兵庫県香港経済交流事務所の機能強化を図り運営する。

ア 友好交流活動の展開

文化事業の開催、日本語教室の開催など、草の根レベルの友好交流を実施するとともに、学校間交流やスポーツ関係者の交流を支援するなど、広範囲な友好・文化交流を支援する。

#### イ 経済交流事業の展開

産業活性化センターとの連携により、海外の経済発展を本県の新たな経済成長に取り込むため、現地事務所のネットワークを生かした、県内企業の現地活動を支援する。

#### ウ 観光交流事業の展開

海外企業や政府関係者・旅行業関係者などに対して、フェアやセミナー及び会議の開催や面談など、様々な機会を捉えて情報を提供することで、海外企業等の来県促進、本県PRを行う。

#### エ 草の根ネットワークの構築 **(新規)**

海外事務所を中心として現地関係者・団体間の緩やかなネットワークを構築し、そのネットワーク内の人材活用や相互協力を行うことにより、海外事務所における活動の更なる円滑化を目指す。

また、ワシントン及び西豪州では、これまでの文化活動を通しての草の根活動を継続し、南米では本県出身者の現地コミュニティ活動の支援を行う。

#### オ 海外展開支援ブース出展事業 **(新規)**

兵庫県の企業・金融機関等が一堂に会する「国際フロンティア産業メッセ2017」において、「ひょうご・神戸国際ビジネススクエア」を中心に「JICA関西」及び当協会の3者が連携して、ブースを共同出展することにより、海外展開を希望する中小企業に対するワンストップサービスの充実、利便性の向上を図るとともに、中小企業の海外展開支援に対するオールひょうごとしての積極的な取り組みをアピールする。

- ・時 期：9月
- ・場 所：国際フロンティア産業メッセ2017（神戸国際展示場）
- ・連携機関：ひょうご・神戸国際ビジネススクエア、JICA関西、兵庫県国際交流協会

### ③ 兵庫県民交流団の派遣

**(予算額4,274千円)**

兵庫県と西オーストラリア州との姉妹提携締結35周年、また、中国・広東省との友好提携締結35周年を迎えることから、これらを記念しそれぞれの友好関係を促進するため、友好訪問団の派遣と現地政府との共同記念行事を開催する。

#### ア 西豪州

- ・参加者：20名程度
- ・時 期：29年4月

#### イ 中国・広東省

- ・参加者：20名程度
- ・時 期：秋

### ④ 広東省学生訪問団の受入

**(予算額3,369千円)**

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省学生訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

- ・参加者：広東省大学生 約190名、省政府関係者 約10名
- ・内 容：歓迎セレモニー（訪問団来県を記念して歓迎セレモニーを開催[場所：県公館予定]）、

大学訪問交流、ホームステイの実施、「兵庫県・広東省交流の集い」の開催

・時 期：10月

**⑤ 広東省省民訪問団の受入 (予算額 1,715 千円)**

兵庫県と広東省の友好交流を一層促進させるため、広東省省民訪問団の受入を実施し、兵庫県と広東省の相互交流の一層の充実を図る。

- ・参加者：広東省民 約100名
- ・内 容：表敬訪問（場所：県公館予定）、ホームビジット、交流のつどい 等
- ・時 期：10月上旬

**⑥ ひょうごホームステイ受入事業 (予算額 1,137 千円)**

兵庫に滞在する外国人が日本家庭で過ごすことにより、日本人、外国人の双方が異文化体験や相互理解が深められるよう、安全・安心に受入が可能となるホームステイの受入・調整について、総合的なコーディネート等を行う。

- ・ホームステイの対象：関係団体、HIAの実施する各種青少年交流プログラム参加者  
県下大学等の留学生や県内ALT等で日本の生活を知らない者

**⑦ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援 (予算額 8,639 千円)**

ア 訪日教育旅行の受入促進

訪日教育旅行において重視されている学校交流等を県内において促進するとともに、若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫ファンづくりを図るため、教育委員会・学校・地域等における受入体制の推進に向けた調整等に取り組む。

イ 学校交流支援事業の実施

訪日教育旅行にかかる学校交流に係る企画・調整や、学校現場と訪問団の円滑な交流の実現に向けた取り組みを行う。

ウ 学校交流プランナーの増員

訪日教育旅行の実績の増加に対応して受入体制を整備するため、学校交流プランナーを1名増員する。

28年度：(H28.12月末状況)

台 湾 31 団体 1,141 名

韓 国 4 団体 85 名

その他 17 団体 359 名

**⑧ 「留学生がみつけた！」ひょうご観光発信事業 (予算額 4,493 千円)**

県内留学生等外国人県民を対象に、地域との国際交流により相互理解を深めるとともに、体験した“兵庫県の地方の魅力”をそれぞれの母国語によりHIAのBlog「The Best of Hyogo」への投稿などにより情報発信を行い、その情報をSNSを通じて拡散することにより国内外の外国人観光客の誘客による地域創生を支援する。

**⑨ 草の根の国際交流事業の推進 (予算額 2,085 千円)**

協会事業・活動への支援組織である兵庫県国際交流協会友の会会員を中心に、県民が主体となった草の根の国際交流活動を実施し、協会の良き支援者の輪を広げる。

あわせて友の会会員（賛助会費）の募集に取り組むことで、自主財源の確保による自主事業の充実を図る。

- ・主な内容：食文化交流教室、バスツアー、オックスブリッジ英会話教室・セミナー、各種広報誌等の配布 等

28年度：  
第1回食文化交流教室 6月14日実施、44名参加  
第2回食文化交流教室 8月24日実施、39名参加  
第3回食文化交流教室 11月17日実施、42名参加  
オックスブリッジ英会話教室 7月25～29日実施、延べ76名参加  
バスツアー 10月22日実施、34名参加

## (2) 知的交流の推進

### ① 国際協力セミナー等の開催 (予算額 761 千円)

開発途上国をめぐる諸問題や国際協力に対する県民の理解を深め、国際協力活動への参画を促すため、国際協力の専門家、県内NGOの活動家や青年海外協力隊OB等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催する。

28年度：7月2日実施、61名参加  
3月11日実施、50名参加予定

### ② オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施 (予算額 2,800 千円)

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施する。

- ・時期：7月中旬～8月中旬
- ・受入数：12名
- ・派遣先団体：10団体

[28年度：7月19日～8月20日実施、延べ229参加]

### ③ 国際会議開催への助成 (予算額 20,000 千円)

県内への国際会議誘致を促進するため、会議開催費の一部を助成する。

- ・助成金額：一般枠 200万円以内（総事業費の5%以内）  
特別枠 500万円以内（総事業費の10%以内）  
個別枠 エクスカージョン助成（30万円以内）  
伝統芸能披露助成（10万円以内）

[28年度：11件助成]

### ④ 国際会議場の活性化 (予算額 550 千円)

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、国際会議場を会場に各種会議、セミナー、シンポジウム、展示会等を主催又は共催の形式で開催する。

[28年度：こころづくり絵画コンクール 10月16日開催]

## (3) 国際理解の促進

### ① 民間国際交流事業への助成 (予算額 2,166 千円)

県民による国際交流活動を育成・奨励するため、先駆的・先導的な国際交流事業に対し助成する。

- ・助成額：助成対象経費の1/2（上額10万円）
  - ・対象：県内で国際交流活動に継続的に取り組むNGO/NPO等の非営利団体が行う国際交流事業
- [28年度：25件助成（予定）]

## ② 国際交流団体等ネットワークの構築 (予算額 1,109 千円)

県内の国際交流団体が有するノウハウや情報の共有、有効活用を図るネットワークを構築し、団体相互の連携を推進するため、「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の活動を支援するとともに、「ひょうご国際交流メールマガジン」を広く配信するなど、情報発信の強化を進める。

[「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の主な事業]

ア 情報共有・発信

- ・ホームページや facebook の運営、メールマガジンの配信等

イ ボランティア情報バンクの運営

- ・会員団体に登録しているホストファミリー、多言語ボランティアの情報を共有する情報バンクを設置

ウ 人材育成や啓発・普及事業等の実施

- ・「やさしい日本語」講座の開催や合同防災訓練等への参画

エ 地域別意見交換会の開催

- ・県内 6 地域において意見交換会及び会員の活動に資する講演会等を開催

## ③ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト (予算額 500 千円)

「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等と連携して、兵庫県国際交流員（CIR）の企画による国際交流イベントを各地で実施することにより、各地域の団体の活性化、ネットワーク強化を図る。 [H28 年度：事業実施数 13 件（予定）]

- ・事業主体：「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体等との共催事業
- ・実施数：県内各地で 10 事業を実施予定

## ④ 地域国際交流団体連携支援助成事業 (予算額 1,596 千円)

兵庫県における国際交流の充実・発展や多文化共生社会づくりを目指すことを目的とした「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の活動を支援するとともに、地域における団体の枠を超えた多文化共生、国際交流に関する連携活動を促進する。

- ・助成対象：会員団体（市町国際交流協会 36 団体及び H I A）
- ・助成内容：① 団体間の広域連携事業  
② 大学・民間団体等との連携事業
- ・助成額：事業費の 1/2（上限 15 万円、10 団体）

## ⑤ 交流の集い開催事業 (予算額 1,639 千円)

参画と協働を基本に外国の社会や文化を学びながら、外国人コミュニティや国際交流団体、外国人県民等と当協会友の会会員を中心とした県民が交流を図る「交流の集い」を開催する。

- ・時期：3 月
- ・参加者：150 名程度

## ⑥ 海外移住と文化の交流センターへの支援 (予算額 500 千円)

平成 21 年 6 月に開館した神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業を NPO 団体等との協働で実施し同センターの活用を図る。

- ・内容：多文化交流フェスティバルの開催（年間 2 事業程度）
- ・28 年度：2 事業実施

- ・ブラジル・日本の子どもの絵の交流展（7 月 2 日～9 月 30 日実施、延べ約 1,000 名参加）
- ・サロン・カーナヴァウ（2 月 26 日実施、約 400 名参加）

- ⑦ 広報紙 (Come HIA) の発行** (予算額 3,523 千円)  
国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行し県民の国際感覚の醸成及び国際理解の促進を図る。〔28年度：8、12、3月発行、各号5,000部〕
- ⑧ 兵庫県海外移住家族会事業** (予算額 210 千円)  
海外への移住者を援護激励するとともに、本県に在住する留守家族との橋渡しを行うことを目的として、会報及び兵庫県の情報を提供するとともに、海外移住と文化の交流センター内のNPOと連携して会員相互の親睦を図る。
- ⑨ 兵庫EU協会への支援** (兵庫EU協会で予算計上)  
EU（欧州連合）及びその加盟国と兵庫県との相互理解を深めるとともに、友好を促進している兵庫EU協会の活動を支援する。
- ⑩ 日本国際連合協会兵庫県本部への支援** (国連協会兵庫県本部で予算計上)  
国際連合の活動や国際問題について知り、世界平和や人権についてともに考えるため、日本国際連合協会兵庫県本部の活動を支援する。

### 3 人づくりへの貢献

今年度の目標) 外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等、国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める。

#### (1) 外国人留学生の支援

##### ① 私費外国人留学生奨学金の支給 (予算額 54,362 千円)

留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し、奨学金を支給する。また、28年度に引き続き、県下中小企業が今後展開しようとしている東南アジア等における新興国からの留学生を確保するためアジア新興国枠を設定する。

- ・支給額：月額3万円
- ・支給期間：1年間
- ・支給人数：150名（うちアジア新興国枠50名、2年間継続支給） [28年度：延べ197名支給]

##### ② 留学生住宅機関保証推進システムの推進 (貸付額 1,000 千円)

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金貸し付けを行う。

- ・貸付先：留学生版安全・安心ネット連絡会
- ・貸付金額：100万円

#### (2) 人材育成

##### ① ひょうご海外研修員の受入 (予算額 6,800 千円)

兵庫県の友好州省をはじめとする諸外国から優秀な青年を研修員として受入れ研修機会を提供することにより、課題解決型の交流を促進する。

- ・受入人数：6名
- ・研修内容：専門分野の研修（県内企業、研究機関等）、日本語研修（兵庫県国際交流協会）ほか [28年度：5名受入]

##### ② セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進 (予算額 海外事務所運営費、ひょうご海外研修員受入で計上)

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県民間の相互理解と友好関係を促進する。

[日仏交流コーディネーターの派遣]

- ・時期：平成29年10月～平成30年9月（1年間）
- ・派遣先：セーヌ・エ・マルヌ県内の大学及びセーヌ・エ・マルヌ経済振興公社ほか
- ・派遣人数：1名 [28年度：1名派遣]

##### ③ 外国語指導助手（ALT）を活用した人材の育成 (予算額 兵庫県教育委員会で計上)

外国語指導助手（ALT）を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバル人材を育成する。

## 《その他事業》

- ① 篠原住宅管理事業  
兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設としての有効活用を図る。
- ・所在地 神戸市灘区篠原本町
  - ・敷地面積 2,400 m<sup>2</sup>
  - ・建 物 鉄筋コンクリート造2階建 3棟 (1,374 m<sup>2</sup>)
- ② 外国人県民・児童生徒の居場所づくり [再々掲 ( P12 参照 )]
- ③ セーフティネットとしての地域日本語教室運営強化事業 [再 掲 ( P15 参照 )]
- ④ 地域日本語教室へのファイナルモデル事業 [再 掲 ( P15 参照 )]
- ⑤ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再 掲 ( P16 参照 )]
- ⑥ 多文化共生のつどい(仮)の開催 [再 掲 ( P17 参照 )]
- ⑦ 草の根の国際交流事業の推進 [再 掲 ( P19 参照 )]
- ⑧ 地域国際交流団体連携支援事業 [再 掲 ( P21 参照 )]
- ⑨ 交流の集い開催事業 [再 掲 ( P21 参照 )]
- ⑩ 兵庫県海外移住家族会事業 [再 掲 ( P22 参照 )]

